

(トップページ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/>)

(MENAランキングシリーズ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/MENAranking.html>)

マイライブラリー:0388

(注)本稿は 2016 年 9 月 30 日から 10 月 3 日まで回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2016.10.4
前田 高行

世界の総人口 73 億人、MENA は 5 億人:中東・北アフリカ諸国の人口・出生率・平均余命

(MENA なんでもランキング・シリーズ その2)

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の 19 の国と 1 機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら 19 カ国・1 機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全てイスラム国家であり OIC(イスラム諸国会議機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですが、その他の多くはスンニ派の政権国家です。また民族的にはイスラエル(ユダヤ人)、イラン(ペルシャ人)、トルコ(トルコ人)以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民族の国家が多数を占める国家群と言えます。

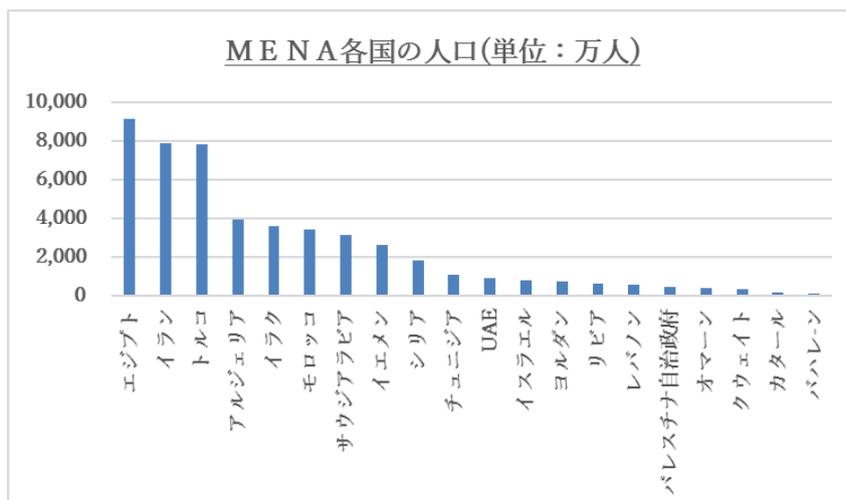
第2回のランキングは国連人口基金(UNFPA)発行の「世界人口白書2015」のデータにより MENA 各国の人口・平均余命等について比較しました。

(参考)国連人口基金東京事務所ホームページ「世界人口白書」:

<http://www.unfpa.or.jp/publications/index.php?eid=00037>

(突出した人口大国:エジプト、イラン、トルコ!)

1. MENA 各国の人口(末尾表 2-T01 参照)



MENA 諸国の中で最も人口が多いのはエジプトの9,150万人である。これに次ぐのがイランの7,910万人、トルコの7,870万人であり、MENA ではこれら3カ国の人口が突出し、MENA の総人口5億人の半数を占めている。第4位はアルジェリアであり同国の人口は3,970万人である。

この他人口が3千万人台の国はイラク(3,640万人)及びモロッコ(3,440万人)及びサウジアラビア(3,150万人)である。これら7カ国に続くのがイエメン(2,680万人)、シリア(1,850万人)、チュニジア(1,130万人)であり、以上10カ国が人口1千万人以上の国である。

MENA 第11位の国は UAE であり、同国の人口は920万人とされている。但しこれは外国人労働者を含んだ数値である。UAE は正確な外国人の人数を公表していないが、同国の人口の8割近くは外国人で占められ、その多くはインド、パキスタン、東南アジア諸国からの出稼ぎ労働者である。このことはクウェイト、カタールなど同じ湾岸産油国についても言えることである。

12位以下の国とその人口は次のとおりである。

イスラエル(810万人)、ヨルダン(760万人)、リビア(630万人)、レバノン(590万人)、パレスチナ自治政府(470万人)、オマーン(450万人)、クウェイト(390万人)、カタール(220万人)、バハレーン(140万人)。

カタールは UAE と同様外国人が人口の8割以上を占めており本来の自国民は40万人程度と言われ実質的には MENA で最も人口が少ない国である。

(MENA では3人乃至4人に1人が若年層、日本ではわずか7人に1人！)

2. 若年層の比率(末尾表 2-T01 参照)

MENA 諸国は一般に若者が多い。年齢10-24歳の若年層が全人口に占める割合は MENA 平均で 25%であり、4人に一人が若年層である。国別にみるとイラク、シリア、イエメン及びパレスチナ自治政府は3割以上である。これに対して米国および中国の若年層の比率は19-20%であり、MENA 諸国に比べて低い。さらに日本の場合はその比率は14%にとどまっており、若年層は全人口の7人に1人と非常に少ない。

なお同じ GCC 産油国の中でも若年層の比率はサウジアラビアの24%に対して、UAE は17%である。一見するとサウジアラビアの方が UAE よりも若年層の比率が高いが、これは UAE(特にドバイ)の人口の8割以上を占める外国人労働者の年齢が25歳以上の成人層であるため、見かけ上の若年

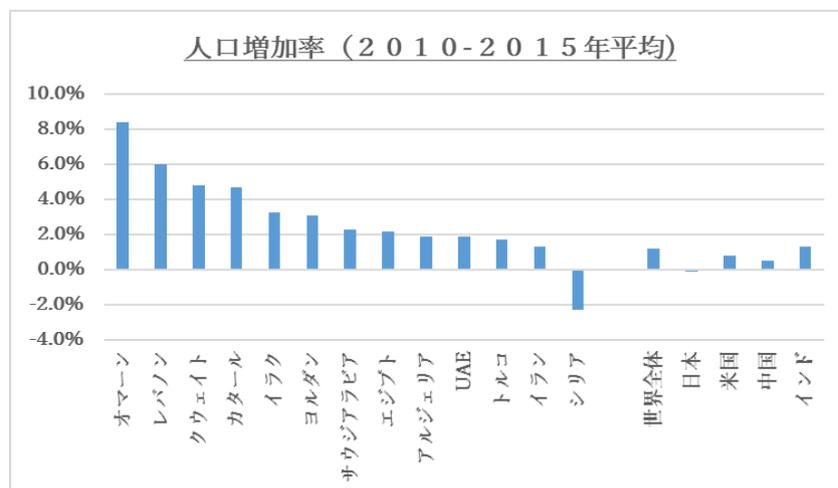
層の比率が低くなっていると考えられる。カタールの若年層比率が19%と相対的に低いのも同様の理由である。

MENA に若年層が多いことは豊富な労働力の予備軍があるというプラスの側面がある一方、若者の失業問題を抱えることになり、また無職の若者あるいは社会の不平等を実感する若者たちがイスラム過激主義などの過激な思想に影響されやすいというマイナスの側面もある。数年前の「アラブの春」でそれが現実のものとなったことは記憶に新しい。

若者達の健全な育成をめざし彼らに適正な仕事を与えることが MENA 地域の安定につながる重要な鍵であると言えよう。

(難民の国外脱出の結果、MENA で唯一人口が減少したシリア！)

3. MENA 各国の人口増加率(末尾表 2-T01 参照)



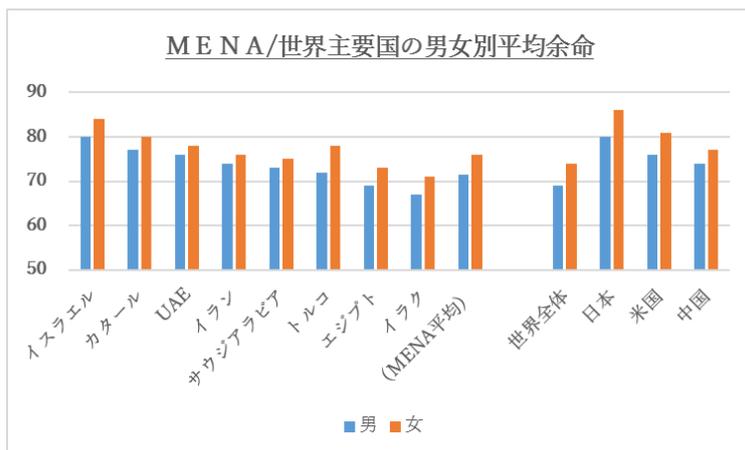
MENA 諸国の中で人口増加率が最も高いのはオマーンの 8.4%であり飛び抜けて高い。これに次ぐのがレバノン 6.0%、クウェイト 4.8%、カタール 4.7%である。以下イラク(3.3%)、ヨルダン(3.1%)と続いている。その他人口増加率が 2%を超えているのはサウジアラビアとエジプトである。

全世界平均の人口増加率は 1.2%であるが、MENA の平均増加率は 2.5%であり、世界平均を 2 倍以上上回っている。このような中でシリアは MENA の中で唯一マイナス 2.3%であり人口が減少している。これは同国で政府と反政府、更にはイスラム国(IS)が三つ巴で内戦を繰り広げている結果、多数の難民が発生、国外に逃れたためとみられる。因みに 2014 年の統計では同国の人口増加率はやはり MENA で最も低い 0.7%であったが、今回はそれをさらに下回り人口減少の異常事態が発生している。なお日本の増加率は-0.1%で MENA(シリアを除く)で人口の増加が続いているのとは対照的である。

(アラブ諸国の平均余命は男 67 歳、女 71 歳！)

3. 主要国の平均余命(末尾表 2-T01 参照)

MENA で平均余命が男女とも最も長い国はイスラエルの男性 80 歳、女性 84 歳であり、MENA で男性の平均余命が 80 歳を超えているのは同国のみで、女性でも同国とカタール(80 歳)の 2 か国だけである。日本の平均余命(男性 80 歳、女性 86 歳)と比較すると、イスラエルは男性が同じであるが、女性は 2 歳短い。



イスラエルに次いで平均余命が長いのはカタールの男性 77 歳、女性 80 歳であり、UAE は男性 76 歳、女性 78 歳である。男性の平均余命がこれらの国々に次いで長いのはイラン(74 歳)、サウジアラビア(73 歳)、トルコ(72 歳)である。トルコは女性の平均余命は 78 歳で、UAE と同じ水準にあり、イランあるいはサウジアラビアよりも長

い。トルコと並ぶ MENA の人口大国であるエジプトの平均余命は男性 69 歳、女性 73 歳であり世界平均(男性:69 歳、女性 74 歳)並みである。

平均余命が最も短いのはイエメンで同国の男性の平均余命は 62 歳、女性は 65 歳であり、MENA の中で女性の平均寿命が 70 歳を下回っているのはイエメンだけである。その他イラク(男性:67 歳、女性 71 歳)、シリア(男性:64 歳、女性 76 歳)、バハレーン(男性:70 歳、女性 72 歳)なども平均余命の短い国である。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
 Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
 E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

MENA 諸国の人口と平均寿命(2015年)

国名	人口				平均余命(2010-2015年平均)		合計出生率 (2010-2015年平均)
	百万人	年平均増加率(%)	10-24歳(%)	65歳以上(%)	男	女	
アルジェリア	39.7	1.9%	24%	6%	72	77	2.9
バハレーン	1.4	1.8%	22%	2%	70	72	2.2
エジプト	91.5	2.2%	27%	5%	69	73	3.4
イラン	79.1	1.3%	23%	5%	74	76	1.7
イラク	36.4	3.3%	31%	3%	67	71	4.6
イスラエル	8.1	1.7%	23%	11%	80	84	3.1
ヨルダン	7.6	3.1%	30%	4%	72	76	3.5
クウェイト	3.9	4.8%	19%	2%	73	76	2.2
レバノン	5.9	6.0%	28%	8%	71	81	1.7
リビア	6.3	0.0%	25%	5%	69	74	2.5
モロッコ	34.4	1.4%	26%	6%	73	75	2.6
オマーン	4.5	8.4%	21%	3%	75	79	2.9
パレスチナ自治政府	4.7	2.7%	34%	3%	71	75	4.3
カタール	2.2	4.7%	19%	1%	77	80	2.1
サウジアラビア	31.5	2.3%	24%	3%	73	75	2.9
シリア	18.5	-2.3%	33%	4%	64	76	3.0
チュニジア	11.3	1.1%	23%	8%	72	77	2.2
トルコ	78.7	1.7%	25%	8%	72	78	2.1
UAE	9.2	1.9%	17%	1%	76	78	1.8
イエメン	26.8	2.6%	34%	3%	62	65	4.4
(MENA 合計/平均)	501.7	2.5%	25%	5%	72	76	2.7
日本	126.6	-0.1%	14%	26%	80	86	1.4
米国	321.8	0.8%	20%	15%	76	81	1.9
中国	1,376.0	0.5%	19%	10%	74	77	1.6
インド	1,311.1	1.3%	28%	6%	66	69	2.5
世界全体	7,349.0	1.2%	25%	8%	69	74	2.5
アラブ諸国	339.0	2.0%	29%	5%	67	71	3.5

Source: State of World Population 2015, UNFPA(国連人口基金東京事務所)

<http://www.unfpa.or.jp/cmsdesigner/data/entry/publications/publications.00043.00000004.pdf>